

# VIII 豊かな生活を創るアイデアバッグコンクール

---

## 1 目的

- (1) 「ものづくり」を通して、知識や技能を習得し活用することにより、ものをつくることや活用の喜びを味わう機会とする。
- (2) 技術・家庭科で習得した知識や技能を生かした被服作品等の設計、製作を通して、ものをつくる喜びを味わう機会とする。
- (3) 自分や家族の生活をより豊かにするために、個性や工夫を生かした製作の目的を明確にすることにより、製作や活用の喜びを味わう機会とする。
- (4) 製作を通して、ものを大切に作る心や成就感、自分や家族の生活を豊かにすることの大切さを実感する機会とする。

## 2 競技内容

〈作品の条件〉 ※作品の条件は、全国大会要項に準ずる。

- (1) 競技の課題について  
「バッグ（ショルダーバッグ、トートバッグ、リュックサックなど）」とする。
- (2) 使用する布について
  - ・バッグ本体の全部または、一部に、家庭にある自分または、家族の衣服を用いる。その他、衣服以外の布などを加えてもよい。
- (3) デザイン及び機能について
  - ・衣服の一部をそのままの形で1つ以上活用する。  
(例：ポケットの形状やボタンをそのまま利用する など)
  - ・「バッグ」の口を閉じられるようにして、中身が出ない工夫をする。
- (4) 縫製について
  - ・入れるものに必要な強度が保たれるように、布目の方向や縫い目の大きさ及び縫い代の始末の仕方などを工夫する。
  - ・バッグのいずれかの部分にまつり縫いを取り入れる。
  - ・スナップは、必ず1つ以上付ける。
  - ・3時間程度で製作できる作品とする。
- (5) レポートについて
  - ・レポートには、「テーマ」、「構想」、「自分や家族の生活を豊かにする視点」、「私にとってのものづくりの視点」と「衣服の再利用の工夫（どの部分をどのように活用するか）」その理由を明記すること。また、まつり縫い・スナップを取り入れた部分を明記すること。（朱書きする）
  - ・解体前の全体像を、写真またはイラストで表す。
- (6) プレゼンテーションについて  
県予選では、プレゼンテーションの審査は行いません。代表に選出され上位大会に進出した場合はプレゼンテーション審査が行われます。

(7) 評価項目及び評価の内容

評価項目		評価の内容
レポート	テーマアイデア	・「自分や家族における課題」,「解決方法(衣服等の再利用を含む)」,「期待される効果」を具体的に記述しているか。
	作業手順	・「製作工程」,「型紙の配置」,「まつり縫い・スナップを取り入れた部分」を具体的に記述しているか。
	まとめ方	・作業工程全体からアイデアまで分かりやすく記入しているか。
	布の種類	・作品に適した布地を使用しているか。
縫製	仕上りの美しさ	・作品の出来栄えはどうであるか。
	縫い代の幅と始末の仕方	・布やバッグの部位に応じて,適切な幅であるか,縫い代を適切に始末しているか。
	持ち手の丈夫さ	・持ち手にふさわしい強度があるか。
	まつり縫い	・まつり縫いが適切にできているか。
	スナップ付け	・スナップを適切に付けているか。
	ミシン縫い	・バッグの部位に応じて,縫い目の大きさや強度が保たれる工夫をしているか。
衣服の再利用	デザイン	・衣服の一部の利用は,テーマに応じたデザインになっているか。
	機能性	・衣服の一部の利用は,テーマに応じた機能を満たしているか。
	使用者への配慮	・使う人の立場に立った工夫がされているか。

3 予選会に必要な書類等について ⇒ 9月5日(木曜日)必着とします。

(1) 作品(バッグ)

- ・どの作品が誰のものか分かるように,示してください。

(2) 作品返却用の宅配便着払伝票

- ・伝票記入後,作品提出の際に同封してください。

**【作品提出先】**

神奈川県公立中学校教育研究会技術・家庭科研究部会事務局  
茅ヶ崎市立松浪中学校 教諭 坪田 柁人(技術部長)  
☎253-0022 茅ヶ崎市松浪二丁目6番47号

(3) 参加応募書・製作レポート ⇒ 簡易書留にて郵送してください。

- ・製作レポートは規定の用紙を用いることとし,必ず手書きをして,A3カラー印刷で提出する。(http://www.ajgika.ne.jp よりダウンロード)

**【競技担当者・申込書類提出先】**

神奈川県公立中学校教育研究会技術・家庭科研究部会事務局  
川崎市立西中原中学校 教諭 外間 愛理(会計)  
☎211-0041 川崎市中原区下小田中2丁目17番1号  
電話 044-777-2239 ファクシミリ 044-799-3954